

この度は緊急告知防災ラジオKCTW-1000をお買上げ頂き有難うございます。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

このラジオの使用に当たり下記の内容をご確認、ご了解の上でご使用願います。

下記の事前確認事項に記載された事故に対しては、一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

〈事前確認事項〉

- (1) 何らかの理由で「緊急告知放送」を聞くことが出来なかったことにより、貴方や貴方のご家族などの財産、生命などが傷ついたり失われた時
 - (2) 「緊急告知放送」を聴くことにより、驚いたり慌てたりして、貴方や貴方のご家族などの財産、生命などが傷ついたり失われた時
- ラジオの電池プタの絶縁板を引き抜くか、ACアダプターが装着された時点でこの内容をご確認、ご了解された事と致します。

1 安全上の注意事項

△【警告】

1. 緊急告知放送が十分に受信できる場所でご使用ください。電波の受信が不安定ですと緊急時の放送を受信できません。受信レベルランプが点灯することをご確認ください。
2. ACアダプターは必ず付属品をご使用ください。付属品以外のACアダプターを使用した場合、ラジオが作動しなかったり、発熱や発火の恐れがあります。
3. 電池は必ず充電式ニッケル水素電池（単3形）を使用してください。また、電池挿入の極性を間違えたり、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。ラジオの故障や発熱、電池の液漏れの原因になります。
4. ラジオ本体は分解や改造を絶対にしないでください。故障、発火、感電等の原因になります。
5. ラジオ本体は防水構造ではありません。雨のかかる場所、浴室等で使用しないでください。また、濡れた手でACアダプターの抜き差しをしないでください。故障、発火、感電等の原因になります。
6. ラジオ本体はストーブの前や直射日光の当たる場所など、高温になる場所で使用しないでください。故障、発火等の原因になります。
7. ラジオの使用中に異臭、発煙、明らかに異常な状態等が発生した場合は直ちに使用を止め、ACアダプターをコンセントから外し、電池プタ部に絶縁板を挿入してください。電池の絶縁板を紛失した場合は、電池プタのねじを外して内蔵電池をラジオから外してください。

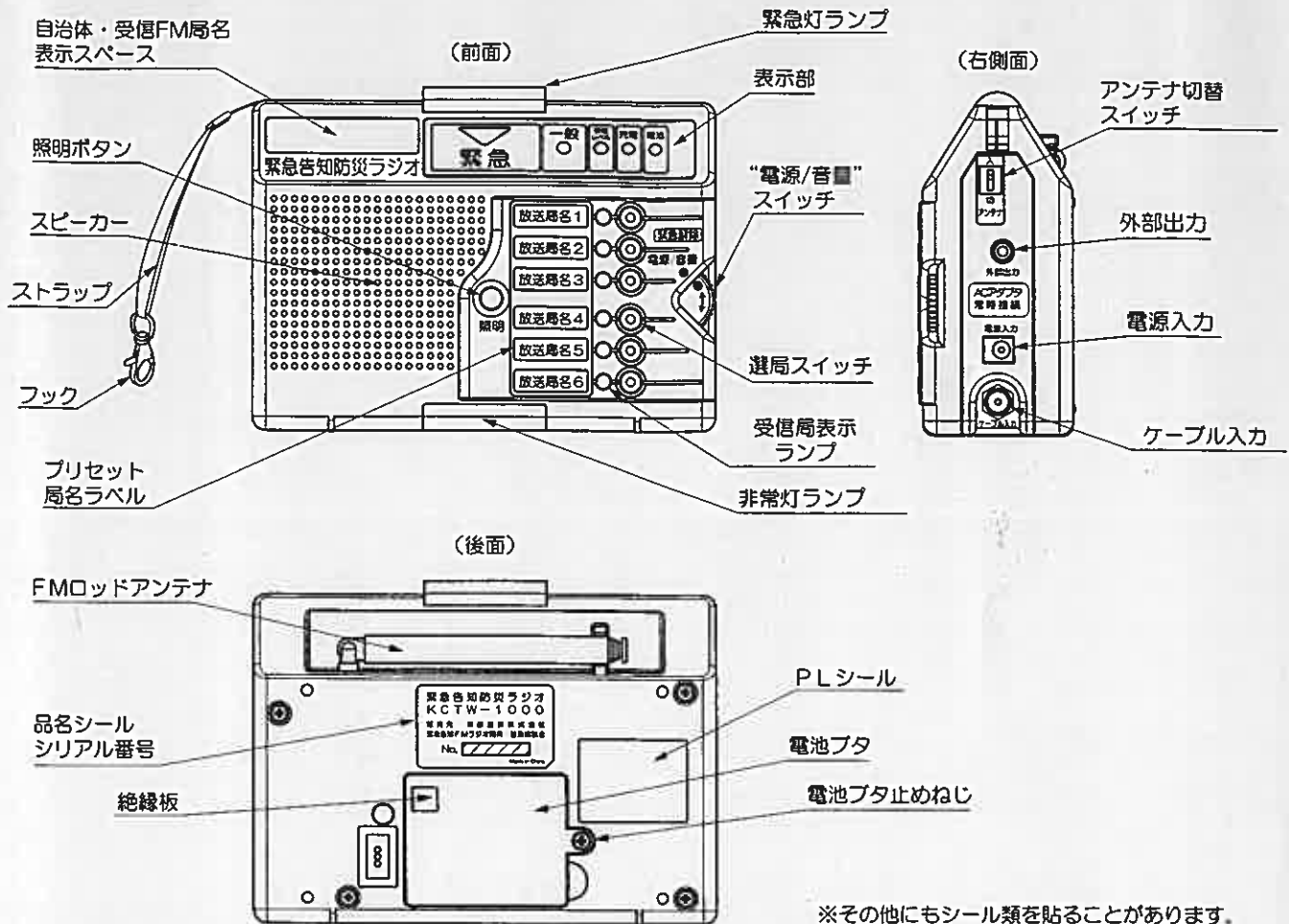
△【注意】

1. ACアダプターは常にラジオ本体に接続し、内蔵電池を充電状態にしてください。内蔵電池を長期間充電しないで放置すると、電池の液漏れが発生する恐れがあります。
2. 電池端子部やラジオ内部に、金属の部材などを挿入しないでください。故障や発火、感電等の原因になります。
3. ラジオ本体は落下しやすい場所や、倒れやすい場所で使用しないでください。本体の落下により、故障したりケガをすることがあります。

2 このラジオの特徴

1. 緊急告知放送を行なうFM放送局からの起動信号によって、ラジオが自動的に起動し、緊急告知放送音声に切り替ります。
2. 自動起動には緊急起動と一般起動があり、緊急起動は災害時などに最大音量で放送し、一般起動はお知らせ放送などを中音量で放送します。また緊急灯ランプ、非常灯ランプ等が点滅し、ラジオが自動起動したことを知らせます。
※緊急起動と一般起動のどちらで起動するかは、FM放送局または自治体ごとの設定によります。
3. 異なる4種類の起動信号を識別するので、ラジオに登録する起動信号でラジオをグループ化することもできます。
4. 緊急告知放送を行なうFM放送局は電源スイッチ、選局ボタンに関わらず常に監視され、受信レベルのランプ表示をします。
5. 通常時は出荷時にプリセット設定したラジオ放送局（一例：FM3局、AM3局）を選局ボタンで選局して聞くことができます。
6. FM放送の受信はラジオ本体のロッドアンテナのほかに、ケーブル入力端子に外部FMアンテナやCATVの同軸ケーブルを接続することが出来ます。AM放送の受信はラジオ本体内蔵のバーアンテナで受信します。
7. 非常灯ランプを備え、停電時に自動点灯するほか前面の照明ボタンでも点灯/消灯ができます。
8. ラジオの電源は、専用のACアダプターとラジオ本体内蔵の充電式電池（単3形ニッケル水素電池）を採用しています。
9. 外部機器に放送音声と緊急起動の制御信号を出力するために、モノラル音声出力と制御出力端子を備えています。

3 各部の説明



※その他にもシール類を貼ることがあります。

4 付属品

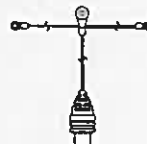
ACアダプター 1ヶ
※常時接続してお使いください



充電式ニッケル水素電池
単3形 3本 (本体内蔵)



外部FMアンテナ 1ヶ



(オプション)

取扱説明書



5 ラジオの受信準備

- ラジオの電池カバーに装着してある電池の絶縁板を引き抜いてください。電池が消耗していない場合全ランプが1回点滅します。電池の絶縁板はなくさないようにしてください。ラジオを使用中止して保管する場合は、絶縁板を元の位置に差し込んでください。またはラジオの電池カバーを外して、内部の充電電池を取り出して保管してください。
- 付属のACアダプターをAC100Vのコンセントに接続し、ラジオ本体の電源入力端子に接続して下さい。充電ランプが点灯または点滅します。ラジオを持ち出すとき以外、ACアダプターは常に接続した状態でお使いください。
- 電源/音量スイッチを下方に回して電源スイッチをオンにしてください。受信局表示ランプ(緑色)が点灯します。
- ロッドアンテナを伸ばし、一番上の選局スイッチを押して緊急告知放送を行なうFM局の音声スピーカーから出るようにします。
- 受信レベルランプが常時点灯するようにアンテナの方向やラジオの設置場所を調整してください。受信レベルランプが点滅していたり放送音声に大きなノイズがあるときは、緊急告知放送時の自動起動ができないことがあります。
- 受信レベルランプが常時点灯にならない場合、外部FMアンテナ(オプション)をケーブル入力端子に接続してください。外部FMアンテナは受信状態が良くなるようにアンテナ設置場所やT字部の角度を調整して、アンテナ先端を画紙やビス等で固定してください。ケーブルテレビ局が緊急告知放送を行なっている場合は、ケーブルテレビの同軸ケーブルをケーブル入力端子に接続してください。
※注意事項 ラジオ本体のロッドアンテナ使用時は、必ずアンテナ切替スイッチを「入」にしてください。外部アンテナ使用時は、アンテナ切替スイッチを「切」にすると受信感度が良くなる場合があります。
- ラジオを聞かない場合は、電源/音量スイッチを上方向に回して電源スイッチをオフにしてください。選局スイッチのランプが消灯します。電源オフの状態でも受信レベルランプが常時点灯していれば、緊急告知放送時にラジオは自動起動します。

6 通常放送の受信

1. 電源/音量スイッチを下方に回して電源スイッチをオンにしてください。受信局表示ランプ（緑色）が点灯します。聞きたい放送局の選局スイッチを押してください。電源/音量スイッチを更に回すと音量調整ができます。
2. FM放送を聴く場合は、ラジオ本体のロッドアンテナの向きを調整したり、ラジオを受信しやすい場所に設置してください。
※注意事項：緊急告知を行なうFM放送局以外のFM局を聞くときでも、受信レベルランプが連続点灯するように設置してください。
3. AM放送を聴く場合は、ラジオ内蔵のバーアンテナで受信するのでラジオの向きを調整したり、テレビなどの電磁ノイズを発生する機器からラジオを離してください。

7 緊急放送の受信、停止

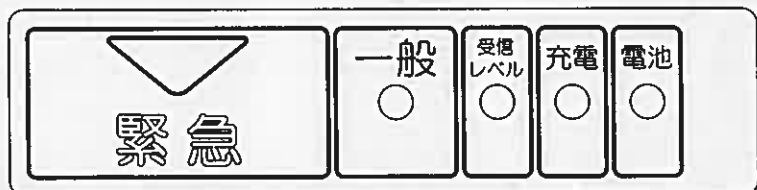
1. 緊急告知放送を行なうFM放送局から起動信号を受信すると、ラジオの電源スイッチや選局スイッチの操作に関わらずラジオが自動的に起動し、受信チャンネルが緊急告知放送を行なうFM放送局に切り替わります。
2. 緊急告知放送を行なうFM放送局は一番上の選局スイッチに設定されているので、手で一番上の選局スイッチを選択することでも緊急告知放送を行なうFM放送局の音声を聞くことができます。ただし自動起動中は選局スイッチと照明ボタンの操作は無効になります。
3. 自動起動には緊急起動と一般起動があります。このラジオは緊急起動信号2つと、一般起動信号2つの合計4種類の起動信号を識別します。どちらで起動するかはFM放送局又は自治体ごとの設定によります。それぞれの自動起動状態の動作の違いは次のとおりです。

	(緊急起動時)	(一般起動時)
スピーカー音	ラジオの最大音に自動的に設定	中音量に自動的に設定 ※工場設定で音量大/中の選択可能
ランプ表示	緊急文字とラジオ上部の赤ランプが点滅	一般ランプが点灯
非常灯ランプ	5秒間点滅のち連続点灯	点滅

4. 自動起動状態は次の2つの方法で停止できます。
 - (1) **自動停止**：緊急告知を行なうFM放送局から停止信号を受信した場合。
ランプ表示を消灯し、自動的に自動起動前の状態に戻ります。
 - (2) **手動停止**：電源/音量スイッチをオンからオフ、またはオフからオンへ操作した場合。
電源オンにした場合：ランプ表示を消灯し、緊急告知放送音声を電源/音量スイッチ位置の音量で出力します。
電源オフにした場合：ランプ表示を消灯し、緊急告知を行なうFM放送局の選局は維持して待機状態に移行します。

8 表示部の説明

1. 表示ラベル内の“緊急”文字ランプ
緊急起動信号を受信すると、赤色の“緊急”ランプが点滅します。
2. 表示ラベル内の“一般”ランプ
一般起動信号を受信すると、表示ラベル内の橙色の“一般”ランプが点灯します。
3. 表示ラベル内の“受信レベル”ランプ
緊急告知を行なうFM放送局のRF信号が規定のレベル以上なら、表示ラベル内の赤色の“受信レベル”ランプが点灯します。RF信号が規定のレベル未満なら、表示ラベル内の赤色の“受信レベル”ランプが点滅します。
4. 表示ラベル内の“充電”ランプ
AC100Vに接続したACアダプターをラジオに接続して電池充電中の場合は、表示ラベル内の橙色の“充電”ランプが点滅します。電池の充電が規定のレベルを超えると、表示ラベル内の橙色の“充電”ランプが連続点灯します。
※AC100Vに接続したACアダプターをラジオに接続したとき、電池が存在しない場合も“充電”ランプが連続点灯します。
※ACアダプターをラジオから外した場合、“充電”ランプは消灯します。
5. 表示ラベル内の“電池”ランプ
ACアダプターを外した場合：電池電圧が電池警告電圧を下回ると、表示ラベル内の赤色の“電池”ランプが点滅します。
(電池放電中) 電池電圧がラジオの動作下限電圧を下回ると、全ての表示ランプが消灯します。
ACアダプターを接続した場合：電池電圧が電池警告電圧を下回っていると、表示ラベル内の赤色の“電池”ランプが点滅します。
(電池充電中) 充電が進んで電池電圧が電池警告電圧を超えると、“電池”ランプは消灯します。
6. 非常灯ランプ
ACアダプターを接続していて停電になると、自動的に非常灯ランプが点灯します。前面の照明ボタンで手動点灯するときは、消灯中に照明ボタンを押すと点灯します。再度照明ボタンを押すと消灯します。※照明ボタンは自動起動中は操作できません。



9 ラジオの持ち出し

1. 緊急時の避難等でラジオを持ち出すときは、外部FMアンテナを外しラジオ本体のロッドアンテナを伸ばしてご使用ください。
2. ラジオ本体のロッドアンテナを使用するときは、アンテナスイッチが「入」になっていることをご確認ください。
3. お住まいの地域で、緊急告知放送を行なうFM放送局のサービスエリア等をよくご確認ください。

10 その他の使用上の注意事項（重要！）

1. 電池の充電：充電ランプが連続点灯になっても、満充電には更に5日ほど必要です。5日間以上充電しても充電ランプが連続点灯にならない場合は電池が劣化している可能性がありますので、電池を充電式ニッケル水素電池に交換してください。
本製品購入後3年を目安に電池を交換することをお奨めします。
2. お引越しの際はこのラジオを販売または配布した放送局、自治体等にご連絡願います。他の地域では動作しない場合があります。
3. ケーブルテレビの緊急告知放送を受信する場合は、ケーブルテレビ会社の指定する接続方法に従ってください。

11 仕様

FM受信周波数	76.0 ~ 108.0 MHz	制御出力	オープンコレクタ (R側) 最大50V 100mA
AM受信周波数	531 ~ 1710 kHz	緊急表示	緊急文字、赤色ランプ点滅
緊急受信局数	指定のFM 1局を工場設定 (CH1)	受信レベル表示	緊急告知用FM局のRFレベルを監視
通常受信局数	FM/AM局の中から5局工場設定 (CH2~6)	非常灯機能	高輝度白色LED×2
FM受信アンテナ	ロッドアンテナ 80cm	充電式電池	単3形充電式ニッケル水素電池×3本
FM外部入力	75Ω F形同軸ケーブル入力端子	ラジオ電源入力	DC9V 500mA
AM受信アンテナ	本体内蔵バーアンテナ	ACアダプター	入力 AC100V 50/60Hz 出力 DC9V 500mA
オーディオ出力	最大出力 600mW 8Ωモノラル	使用温度範囲	0~40℃
スピーカー	直径77mm 8Ω 定格入力 2W	サイズ	170mm (W)×126mm (H)×58mm (D)
外部出力端子	φ3.5 ステレオミニジャック	質量	550g (電池含む ACアダプター別)
外部出力音声	ラインレベル・モノラル音声 (L側)	設置形態	壁掛け/据置き/携帯可能

※ 交換用電池 単3形充電式ニッケル水素電池 (電池容量2000mAhの電池を推奨します)

※ 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

12 故障かなと思ったら

1. スピーカーから音が出ない。
 - ・ ACアダプターが接続されていますか。電源コンセントにAC100Vが通電されていますか。
 - ・ ラジオの電源/音量スイッチを下側方向 (音■大の方向) に回しましたか。選局スイッチの緑ランプが点灯していますか。
2. 放送局を選局してもザーと雑音だけが聞こえる。
 - ・ このラジオにはあらかじめ設定された放送局のみ受信できます。ご使用の地域用のラジオでしょうか。
ラジオ本体のラベル表示 (放送局名、地域名、後面のシリアル番号など) を確認し、ラジオの販売元や配布元にお問い合わせください。
 - ・ 放送局の電波は十分に届いていますか。
FM放送の場合、本体のロッドアンテナは伸ばしてありますか。ロッドアンテナの向きを変えたりラジオの設置場所を変えてみてください。窓際や屋外で聞こえる場合は、付属の外部FMアンテナをケーブル入力に接続して下さい。
 - ・ AM放送の場合、ラジオ本体内蔵のバーアンテナで受信します。ラジオ本体の向きで感度が変わりますので感度が良い方向に向けてください。またAM放送はパソコン、テレビなどの電子機器のノイズで妨害されますので、これらの機器から十分離してご使用ください。
3. ACアダプターを外すとラジオが作動しない。
 - ・ ラジオ後面の電池ボタンに挿入してある絶縁板は外しましたか。絶縁板を外さないと電池動作しません。
 - ・ 内蔵電池の充電はできていますか。ACアダプターを接続して内蔵電池を充電してください。充電ランプが点滅又は点灯します。
 - ・ 電池の向きは正しく入っていますか。電池交換時には電池の向きには十分ご注意ください。
4. ラジオの緊急起動が上手く作動しない。
 - ・ 受信レベルランプは連続点灯していますか。点滅の場合は受信レベルが不足しています。ラジオの設置場所を移動するか外部FMアンテナを使用してください。また一番上の選局スイッチを押して緊急告知放送を行なう放送局の音声を聞いたときに、大きな雑音がある場合も自動起動しないことがありますので雑音の少ない状態でご使用ください。

※この「緊急告知防災ラジオ KCTW-1000」が故障した時は、このラジオを販売または配布した放送局、自治体等にご連絡願います。
お買上げ月より1カ年は保証規定に基づき無償修理または交換させていただきます。

販売元 兼藤産業株式会社 〒241-0831 神奈川県横浜市旭区左近山9-5-203 TEL 045(351)0940 FAX 045(353)2225
製造元 URO電子工業株式会社 〒273-0046 千葉県船橋市上山町1-242-1 TEL 047(303)6669 FAX 047(303)6665